

平成十八年春 芸術の森地区に市立大学開学

札幌市が基本構想を発表



上田市長へ高橋会長より大学設置の期待表明の文書を渡す

平成16年1月25日

札幌市では、かねてより、高等専門学校と高等看護学院の大学化について検討していましたが、平成十五年九月、これまでの検討経過を踏まえて、今後の大学設置事業の指針となる「(仮称) 札幌市立大学基本構想」を発表しました。基本構想によると、大学はデザイン系学部と看護系学部の二学部制で、現在の高等専門学校の施設を活用する芸術の森キャンパスにはデザイン系学部のほか大学本部を置き、看護系学部の学生も同キャンパスで共通教育を受けることになります。今後、この基本構想に基づいて、より具体的な計画を策定し、施設工事や認可申請などを経て、平成十八年春の開学をめざすこととしています。(基本構想の冊子は連絡所でも配布しています。)

芸術の森地区街づくりビジョンでは、市立高専について「将来芸術大学への夢をふくらませていまし」と述べています。今回の基本構想策定は、この夢に向けて動き出したものとして今後の事業進展に期待したいと思います。また、今後、大学を支える街として大学

をくださいました。

そこで、連町は、札幌市がこの基本構想に基づき地域に根ざした大学づくりを進めていくことを支援するため、会長・副会長の一行が去る十一月四日に上田文雄札幌市長を訪れ、大学設置に対する期待表明の文書を手渡し、市長と懇談しました。なお、市長との懇談では、会長から音楽祭や文化マップなど当地区的取組を紹介し、市長は熱心に耳を傾け、激励の言葉

と連携したまちづくりの推進について、地域の中で検討していく必要があります。



芸森地区交通安全啓蒙

平成15年交通事故発生状況(12月31日現在)

| | | | | |
|--------|-----|------------------|--------------|---------|
| 死者数 | 北海道 | 391名 | (前年比 - 102名) | 全国ワースト1 |
| " | 札幌市 | 56名 | (" - 20名) | |
| " | 南区 | 5名 | (" - 6名) | 全区ワースト5 |
| 傷者数 | 札幌市 | 14,647名 | (" 185名) | |
| " | 南区 | 1,012名 | (" 126名) | |
| 事故発生件数 | 札幌市 | 12,127件 (" 334名) | | |
| | 南区 | 759件 (" 96名) | | |

札幌市では、かねてより、高等専門学校と高等看護学院の大学化について検討していましたが、平成十五年九月、これまでの検討経過を踏まえて、今後の大学設置事業の指針となる「(仮称) 札幌市立大学基本構想」を発表しました。基本構想によると、大学はデザイン系学部と看護系学部の二学部制で、現在の高等専門学校の施設を活用する芸術の森キャンパスにはデザイン系学部のほか大学本部を置き、看護系学部の学生も同キャンパスで共通教育を受けることになります。今後、この基本構想に基づいて、より具体的な計画を策定し、施設工事や認可申請などを経て、平成十八年春の開学をめざすこととしています。(基本構想の冊子は連絡所でも配布しています。)

札幌市では、かねてより、高等専門学校と高等看護学院の大学化について検討していましたが、平成十五年九月、これまでの検討経過を踏まえて、今後の大学設置事業の指針となる「(仮称) 札幌市立大学基本構想」を発表しました。基本構想によると、大学はデザイン系学部と看護系学部の二学部制で、現在の高等専門学校の施設を活用する芸術の森キャンパスにはデザイン系学部のほか大学本部を置き、看護系学部の学生も同キャンパスで共通教育を受けることになります。今後、この基本構想に基づいて、より具体的な計画を策定し、施設工事や認可申請などを経て、平成十八年春の開学をめざすこととしています。(基本構想の冊子は連絡所でも配布しています。)

札幌市では、かねてより、高等専門学校と高等看護学院の大学化について検討していましたが、平成十五年九月、これまでの検討経過を踏まえて、今後の大学設置事業の指針となる「(仮称) 札幌市立大学基本構想」を発表しました。基本構想によると、大学はデザイン系学部と看護系学部の二学部制で、現在の高等専門学校の施設を活用する芸術の森キャンパスにはデザイン系学部のほか大学本部を置き、看護系学部の学生も同キャンパスで共通教育を受けることになります。今後、この基本構想に基づいて、より具体的な計画を策定し、施設工事や認可申請などを経て、平成十八年春の開学をめざすこととしています。(基本構想の冊子は連絡所でも配布しています。)

札幌市では、かねてより、高等専門学校と高等看護学院の大学化について検討していましたが、平成十五年九月、これまでの検討経過を踏まえて、今後の大学設置事業の指針となる「(仮称) 札幌市立大学基本構想」を発表しました。基本構想によると、大学はデザイン系学部と看護系学部の二学部制で、現在の高等専門学校の施設を活用する芸術の森キャンパスにはデザイン系学部のほか大学本部を置き、看護系学部の学生も同キャンパスで共通教育を受けることになります。今後、この基本構想に基づいて、より具体的な計画を策定し、施設工事や認可申請などを経て、平成十八年春の開学をめざすこととしています。(基本構想の冊子は連絡所でも配布しています。)

札幌市では、かねてより、高等専門学校と高等看護学院の大学化について検討していましたが、平成十五年九月、これまでの検討経過を踏まえて、今後の大学設置事業の指針となる「(仮称) 札幌市立大学基本構想」を発表しました。基本構想によると、大学はデザイン系学部と看護系学部の二学部制で、現在の高等専門学校の施設を活用する芸術の森キャンパスにはデザイン系学部のほか大学本部を置き、看護系学部の学生も同キャンパスで共通教育を受けることになります。今後、この基本構想に基づいて、より具体的な計画を策定し、施設工事や認可申請などを経て、平成十八年春の開学をめざすこととしています。(基本構想の冊子は連絡所でも配布しています。)

期別交通安全市民総ぐるみ運動 参加の皆さんにお礼

芸術の森地区交通安全部長 井 村 愿 之

平成十五年度の期別交通安全市民運動は四期四十日で十一月二十日をもって終了致しました。運動

○人身事故は初冬から春にかけて最も多い。

期間中万障合せ参加下さった皆さまにあつくお礼申し上げます。

○物損事故は初冬から春にかけて多発している。

さて十五年の交通事故発生状況

○運転意識を冬の運転モードに切り替える必要があります。

(十二月三十一日現在)ですが、死者数が減っているが、交通事故件数の増加に伴い傷者数は前年同期よりも増加しています。この事は近い将来死者数が前年を上回る事が予想されます。特に北海道は季節の区別がはっきりした土地柄で交通事故の発生状況も季節によって変わります。

○死亡事故は秋から初冬にかけピークになります。

そこで、連町は、札幌市がこの基本構想に基づき地域に根ざした大学づくりを進めていくことを支援するため、会長・副会長の一行が去る十一月四日に上田文雄札幌市長を訪れ、大学設置に対する期待表明の文書を手渡し、市長と懇談しました。なお、市長との懇談では、会長から音楽祭や文化マップなど当地区的取組を紹介し、市長は熱心に耳を傾け、激励の言葉

○人身事故は初冬から春にかけて最も多い。

○物損事故は初冬から春にかけて多発している。

○運転意識を冬の運転モードに切り替える必要があります。

○運転意識を冬の運転モードに切り替える必要があります。

みなさまの想いにおこたえいたします

医療法人 愛全会
介護老人保健施設 アートヒルズ

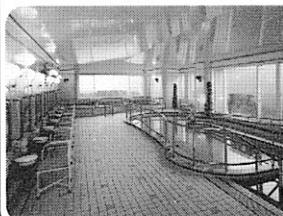
〒005-0849 札幌市南区石山837-47

住宅介護支援事業所併設(ケアプラン作成)

みんな しあわせ 365日

0120-348-365

入所サービス
ショートステイ



通所リハビリテーション



アートヒルズ
医療法人 愛全会
介護老人保健施設

〒005-0849 札幌市南区石山837-47

住宅介護支援事業所併設(ケアプラン作成)

みんな しあわせ 365日

0120-348-365

FreeDial



**第八回
芸術の森地区
音楽祭**

第八回

— 催しが定着し聴衆も増加 —

十一月二十九日芸術の森アートホールにおいて、青少年を中心において、地域の人々がふれあい、相互の理解を深め、地域の絆を確かなものにすることを目的として開催されました。

本年は、八回目を迎えて催しが広く浸透したせいか、七百枚のプログラムも開演後間もなく無くなり、入場者は通算で千名を超えた

インチエンツオさんと橋本幸子さんのヴァイオリン、橋本純一郎さんのピオラ、坂口睦さんのピアノでピアノ四重奏のほか、常盤中学校の先生有志によるロックバンド演奏、駒岡小の全員出演も注目を

主催三校よりそれぞれ器楽演奏、常盤中学校の各学年より合唱の発表と吹奏楽部員によるビッグバンドの演奏がありました。

また、札幌ユース吹奏楽団による吹奏楽、琴・フルート合奏、女性コーラス、民謡、ジャズなど出

しものは多彩でした。

さらに芸術の森合奏団の市川ヴィンセントさんと橋本幸子さんとの演奏も注目を



のでは…と思われます。

主催をされました芸術の森町内会連合会、常盤中学校区青少年健全育成推進会の方々をはじめ、前日よりお手伝い頂いた町内会、PTAの皆様、常盤中学校の先生たちびにおやじの会、常盤小学校の青少年育成委員、民生委員の皆様に心からお礼申し上げます。



**第九回
芸術の森地区
文化祭**

第九回

— 陶芸品の出品が増加 —

十一月一、三日の両日芸森地区会館で開催されました。出品は三十八名の方より八十点ありました。分野別では制作品(手芸ほか)が十三名の方より二十七点の出品があつて最も多く、次いで陶芸が八名の方より十八点の出品がありました。

この他木彫り、書道、絵画、生け花、写真なども数多く出されました。これらの中でも陶芸品の増加が目をひきました。

今回の出品が前年に比べて十点増えましたが、町内会や老人クラブで開催しているところも多くな

り裾野も広がつてきているので、明年へ向けては、これらの展示会と連動させることにより、作品数がさらに増加するものと期待しています。



**第九回
芸術の森地区大運動会**

第九回

くまで夕立がありましたが、競技を対象としたパークリング団体戦グラウンドは雨がなくスケジュールどおり競技が行われました。特徴的なこととしては、高齢者を対象としたパークリング団体戦が二年前より導入され、近年のパーカゴルフ熱もあって高齢者の集まりがよくなり、競技も盛り上がりました。前日の準備から後片づけに至るまで役員の皆さんご苦労様でした。

昼休みから午後の競技開始頃まで、すぐ近

く好調でした。開会式セレモニーの後、「小中学生徒競走」から最終種目の「年代別対抗リレー男子」まで熱戦がくり抜けられました。



高齢者を対象としたパークリング

が二年前より導入され、近年のパーカゴルフ熱もあって高齢者の集まりがよくなり、競技も盛り上がりました。前日の準備から後片づけに至るまで役員の皆さんご苦労様でした。

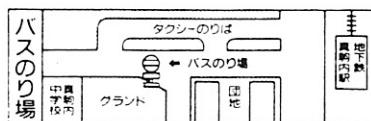
無料 見学・墓参バス運行中

真駒内滝野靈園

札幌市許認可霊園

時間 午前 10:00
午後 12:00
午後 2:00

※但し、毎週水曜日運休



お問い合わせ・
お申込みは **真駒内滝野靈園事務所** ☎(011)592-1223

「もりの仲間の交流会」

世代間交流・芸術の森地区

もりの仲間の交流会実行委員会

今年で三回目となる「もりの仲間の交流会」は去る九月十三・十八日の二日にわたり実施されました。今回は「じゃがいも」をテーマに企画し、五月の常盤児童会館横の畑作り・種芋植えにはじまり、九月の安藤さんの畑からの収穫の助けを得て、実行されました。

初日当日は、あいにくの嵐となりましたが、児童会館横のテントでの一台の薪ストーブによる大鍋でのゆでじゃがいもは最高でした。会館内でのゲームもあり、集まつた小学生・児童・母親は大喜びでした。

親子のいも掘り作業

二日目は平日とあって、乳児児・母親・祖父母の参加となりました。雲り空とはいえ、じゃがいも掘りはなかなか楽しいもので、子供たちは土に座って夢中になり、お母さんたちはビニール袋いっぱいの収穫に大満足でした。会館内では、ボランティアさんによる紙芝居・エプロンシアターを楽しめていたとき、最後に食生活改善推進員さんから「じゃがいものキッシュ」牛乳普及協会からの牛乳のサービスがあり、楽しい一時をすごしました。

地域で、三・四世代が一緒に集

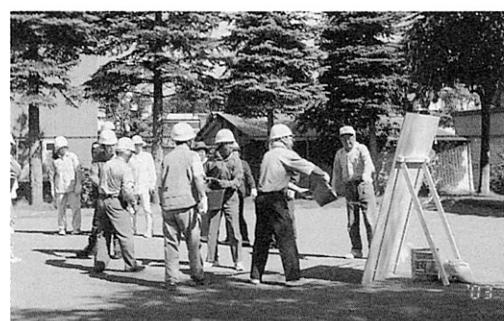


ボランティアさんによる紙芝居とエプロンシアター

平成15年度南区防災訓練

ー芸術の森地区にて開催ー

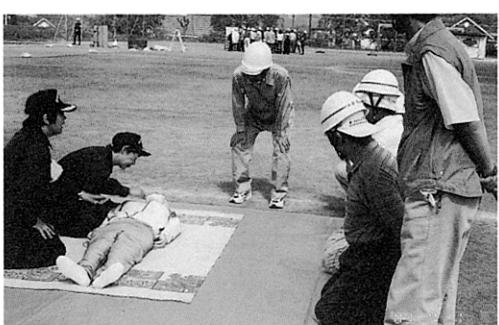
午前九時三十分頃、札幌市において、強い地震が発生し、南区全域で家屋の倒壊や火災が発生したことなどを想定した防災訓練が行われました。芸術の森地区に設けられた五カ所の一時避難場所と、そ



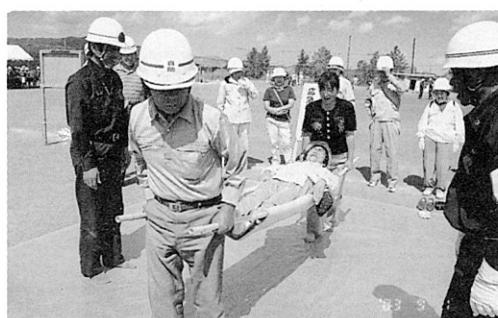
バケツリレーによる消火訓練

二回目です。今回は実行委員会をつくり、たくさんの人のかかわりの下実施されました。来年度からは福祉部の所管となり、より地域に親しまれるものとなります。

える「なにか」を探して、今回で二回目です。今回は実行委員会をつくり、たくさんの人のかかわりの下実施されました。来年度からは福祉部の所管となり、より地域に親しまれるものとなります。



心肺蘇生訓練



担架の組立と搬送訓練

文化マップの作成進捗状況について

芸術の森地区街づくり会議からは主要テーマであります文化マップの作成のこれまでの経緯と進捗状況についてご報告致します。

平成十三年九月十三日開催のマタウン・トーキ芸術の森において芸術の森地区街づくりへの提言と題してサンブライド町内会の西野会長から出された文化マップ作成案が南区役所ほか各方面より支持を得、市立高専の協力のもと、第一回目の人物編が平成十五

折りたたみ式担架の組立と搬送、二次避難場所においては、避難人を利用した消火、心肺蘇生、簡易担架の作成と搬送、ロープ結索などの訓練をしました。

平成十五年度は第二回目として芸術の森地区景観編（仮称）の作成を取り組み、平成十六年三月完

秋・冬の四季の風景の撮影より始めましたが、高専の後藤教授のご助言もあり、景観編として自然景観、建造物と街並み及び地区に生息する動植物に焦点をあてまとめた方針です。

の動植物が生息し営巣地や採餌場として利用しています。鳥類のカワセミは真駒内川のシンボル的存在ですし、ヤマセミは真駒内川の上流でなければほとんど見られなくなりました。

芸術の森地区は、札幌市の中でも特に豊かな自然環境に恵まれたところです。地区の中心を国道四五三が走り、入り口の望豐台から出来ます。

植物八四科三七六種、鳥類二四科四七種、魚類五科六種、昆虫類一〇三科五六種等と豊富で「こうして自然環境を子孫の為にも大切に残して行こう」と言うコンセプトを編集方針としております。

常盤団地会館の利用現況 －サークル活動の紹介

1

町内会は昭和五十一年に設立され、四年後の五十四年にはじめて会館が建設されました。現在の会館は昭和六十一年十一月から基礎工事が始まり、昭和六十二年十月に完成したものです。会館用地が河川敷のため永久建築物は認められず、プレハブ建築となりました。

老人クラブの諸行事も毎月三四回行われるほか、スポーツ少年団の宿泊研修や中学校おやじの会などの会合、サークルとして舞踊民謡のほか、本年一月より水墨画二月より折紙づくりが始まります。以上通算して年間約百七十回の利用があります。

会館の利用は、町内会の各種行事として総会をはじめ毎月の役員会、新年交礼会、新春マージャン大会、同カルタ大会、盆踊り、七夕祭り、敬老会、しめ縄づくり、毎月のすこやか俱楽部、その他打ち合せ会議に利用されています。

今から二十一年前、相田邦子先生が常盤団地に越して来た時に、町内会の余興で踊りを踊ったのがきっかけで、町内にお住まいになつ

なお、先生は平成八年の東京国技館で開催された財日本民謡協会

平成九年より松村實融先生を招いて三名で民謡の練習を始めました。現在は五名で毎月三回の定例日に練習をしています。

や常盤神社祭、町内の芸能文化祭や敬老会などで披露しています。

力や入院されている方もいて、名のお弟子さんと毎月三回の定例日に練習をしてています。

ておられる十二名の方々と共に踊りの練習に励んできました。

紹介することにより、△後の地域内のネットワークづくりと交流をさせることを目的として、文化マップを作成することとします。

いるグループがあります。このよ
うな団体やサークルに関する情報
を収集し、その現況をまとめ広く

普を作る予定です。当地区は芸術系の森等芸術系の施設があり、文化活動の拠点となつております。それと並んでスポーツの分野においても数多くの方が、活躍されております。この他にも福祉、青少年育成、環境保全など地域において街づくりの様々な分野で活躍して



敬老会での舞踊

四、芸能文化祭

サークル活動のほか、芸森地区会館や区民センターなどいろいろな習い事をしています。各サークルの方々が一年に一度集まって、これまでに習得したことを発表する機会をつくりました。平成十一年より始め今年で六年目になります。

関係者一同願っております。

サークル活動をはじめ発表される人の輪がますます拡がることを

サークル活動をはじめ発表される人の輪がますます拡がることを関係者一同願っております。

る機会をつくりました。平成十二年より始め今年で六年目になります。

館や国民センターなどでいろいろな習い事をしています。各サークルの方々が一年に一度集まって、これまでに習得したことの発表す

四、芸能文化祭

墨画や折紙の指導をしておられ、
町内会活動に大きく貢献されてお
ります。

文化マップ（人物編）に舞踊の分野でタップダンスの先生として紹介されたのが縁で、その後町内会の役員もされ、ボランティアで水



芸能文化祭における民謡の成り立と発表

交通安全母の会の活動について

今年度も、交通安全運動推進委

まいりました。

員会とともに女性部の会員の協力の下、五月・七月・十一月の地区会館前での啓発運動 九月・十一月のグリーンホテル前での啓発運動

あとは、来春の新一年生へのプレゼント配布を残すだけとなっています。

動 七月中山峠での交通安全キャンペー
ンペーンへの参加をしてまいりま
した。

と送り出し、「たたいま」と

また、八月の芸術の森地区大運動会、九月のボスフール前での啓発運動と、たいへん地味な活動ではありますが、交通安全を訴えて

たくありません、「一人一人の
心中に黄色い旗の波が残つ
ていてくれることを願つてお
ります。

【地域の親子のふれあい交流】の開催

子育て中の親子と地域の方々が触れ合い、交流ができる場として【屋内・屋外】において下記の日程で開催します。

芸術の森地区の方なら年齢を問わずどなたでも参加できます。

◆屋内・常盤児童会館（常盤2条2丁目）

2月16日(月) 午前9:45~11:15

お店屋さんごっこ お面・釣り・ポールころ
ころ等

【詳しい問合せ先】

南区保健福祉サービス課子育て支援担当

TEL583-2400 (内線607)

南区真駒内幸町1丁目 保健センター2階

芸術の森地区交通安全母の会会則の要旨

『本会は、会員各自が家庭における交通安全教育の推進者となり、「自分自身で危険から身を守る。」指導をするとともに、会員相互が連帯し、関係知識の習得ならびに地区諸団体と協力し、身近な活動を通じ交通事故のない幸福で明るい地区をつくることを目的とする。』となっています。



◆芸森地区より常盤一区町内会の横山圭子氏、アートパークタウン町内会の堀由起氏、サンブライド真駒内町内会の高田純夫氏の三氏が十一月十五日南区クリーンさつぽろ衛生推進協議会会长より感謝状を授与されました。

感謝状の授与内容は、日頃から清掃ボランティアとして地域の環境美化に取り組み、その活動の実績が評価されました。

交通安全母の会の皆さん

衛生推進功労者表彰
及びボランティア
実践者感謝状授与

△分日　吉野町役場のラブ連合会の研修交流会に参加した。その折り、駒岡の地名は、駒の居る岡ではなく真駒内の駒と西岡の間を併せてこの二

▽先日、芸森地区老人クラブ連合会の研修交流会に参加した。その折り、駒岡の地名は、駒の居る岡ではなく眞駒内の駒と西岡の岡を併せたものと教えられた。

▽北海道の地名はアイヌ地名に漢字を当てたものが多いが本州では、歴史的背景を持つものが多く、住民の愛着もあり簡単に捨てがたい。

▽北海道でも歴史的に捨てがたい地名が多くある。駒岡は残して置きたい地域名の一つである。

▽常盤の旧名『土場』も歴史的に意義のある地名であったが、今となっては詮ないことである。

▽その席で、駒岡開拓の功労者、唐木田真氏の話が出た。長く駒岡に住んだ人の記憶には残つておらず、未だに尊敬されているが、知らない人も増えてきている。

氏に関する記録は、自叙伝「三反百姓小倅の足跡」に記されているがその業績については、断片的に紹介されているに過ぎない。

▽本州では地域にまつらう物語や昔話が残され、郷土の理解から郷土愛、ふる里愛が育っている。

▽昨年常盤地区開基百年記念誌が発刊され地域の歴史が紹介されたが。郷土の物語、偉人伝、等も今残さなくては悔いを残すことになる。

▽以前。「地域を支えた人」の特集を「本紙」で行ったが、もう一度郷土物語を特集しては? (稀)